

誰にでもできる 稲の生育調査

1 草丈 (10株連続して測る)

葉の先端までの長さを読みとる

1センチ単位を目盛りを読む
1メートルのものさし

株を手でしぼって

泥と同じ 泥に埋もれないよう
地ぎわに合わせる
高さに合わせる

出穂後

穂長

最も丈の長い穂で測定

← 穂首厚くばり測ります

かん長

地ぎわ

2 茎数 (10株連続して測る)

葉が別れたもの

分けつ

分けつ芽と葉の区別

芯葉で区別すると良い

← 親茎から離れたたの葉っぱ

その茎に生きた葉が新しく出て来ているかどうか

← 分けつ

次の葉が少し出た5本

3 葉齢 (5株連続して測る)

稚苗だと田植え後約25日で分けつが発生してきます

新しいエナメル印

古いエナメル

3号分けつ

2号分けつ

1号分けつ

3~4週間

2週間目

田植え直後

親茎

次葉の展開した時の長さを予想して、その長さを10等分して0.1単位で読みます

予想よりも遅くの葉の長さを10等分して現在の長さからいくつになっているか

絵だと0.7<u>5</u>

4 葉色

フジ葉色板 (カラースケール)

※ 中間色を含めて0.5単位で読みとる

群落

全体のイネの色とくらべて見る

太陽を背にして

3メートルはなれて見る

注意!!

単葉だと群落の色よりも0.6~1.0程度濃く見える

1センチ厚みで葉の色と比べる

5 生育調査する場所

水口

冷水で濡れる

普通は2カ所を対角線に設置

水口・水尻をはずして陸路から5条ほど中に入った所

水尻 1m~1.5m中ぞ!!

調査場所の株のまわりを足で踏まないように

目印 1m以上の長さ

生育(植え付け)の中層な場所の連続した10株で調査する(その平均値が調査結果です)

欠株がある所はダメです

6 栽植密度 植え付け株数

スタート★

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

A 10条間の長さ

B 20株間をはかる

1m²の栽植密度 = $\frac{1}{A \times B}$ 条間 × 株間

(例) 10条間 = 300cm, 20株間 = 360cm

1条間 0.3 m = A, Aは30センチ

1株間 0.18 m = B, Bは18センチ

栽植密度 1 ÷ 0.3 ÷ 0.18 = 18.5株/m²

田植え後では条間は30センチです。(A = 0.3m)

※ Xメートル(m)単位で測ります。

枕地など、端のほうを避けてメジャーで測る!